

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 3 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 10 月 25 日(2024.10.25)

【公開番号】特開 2024-86870(P2024-86870A)
【公開日】令和 6 年 6 月 28 日(2024.6.28)
【年通号数】公開公報(特許)2024-120
【出願番号】特願 2024-63938(P2024-63938)
【国際特許分類】

A 6 1 K 35/17(2015.01)

10

A 6 1 K 38/17(2006.01)

A 6 1 K 39/395(2006.01)

A 6 1 P 25/28(2006.01)

A 6 1 P 25/16(2006.01)

A 6 1 P 37/06(2006.01)

C 0 7 K 19/00(2006.01)

C 1 2 N 5/10(2006.01)

C 1 2 N 15/09(2006.01)

【F I】

A 6 1 K 35/17

20

A 6 1 K 38/17

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 P 25/28

A 6 1 P 25/16

A 6 1 P 37/06

C 0 7 K 19/00 Z N A

C 1 2 N 5/10

C 1 2 N 15/09 Z

【手続補正書】

30

【提出日】令和 6 年 10 月 17 日(2024.10.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の操作された制御性 T 細胞 (T r e g) を含む組成物であって、

前記複数の操作された T r e g の前記操作された T r e g が、C D 4 + C D 1 2 7 - C D 2 5 + F O X P 3 + 細胞であり、

前記複数の操作された T r e g の各操作された T r e g が、グリア細胞マーカーに特異的に結合するキメラ抗原受容体 (C A R) を発現し、

前記 C A R が、配列番号 1 2 に存在する 6 つの C D R を含む単鎖可変フラグメント (s c F v) を含み、前記 6 つの C D R が K a b a t により定義される C D R である、組成物。

【請求項 2】

前記 6 つの C D R が、

(a) S Y A M S (C D R - H 1) ;

(b) S I S T S G S Y T A Y A D S V K G (C D R - H 2) ;

50

- (c) G G Y T F D Y (C D R - H 3) ;
(d) R A S Q S I S S Y L N (C D R - L 1) ;
(e) S A S T L Q S (C D R - L 2) ; および
(f) Q Q S D G N P T T (C D R - L 3)

であり、前記組成物が薬学的組成物である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記 s c F v が、配列番号 12 に対して少なくとも 99 % の配列同一性を有する、請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記 s c F v が、前記グリア細胞マーカーであるミエリン - 希突起膠細胞タンパク質 (M O G) に特異的に結合することができる、請求項 3 に記載の組成物。 10

【請求項 5】

前記 C A R が、前記操作された T r e g を、M O G を発現するグリア標的細胞へと方向付けることができる、請求項 4 に記載の組成物。

【請求項 6】

複数の操作された制御性 T 細胞 (T r e g) を含む組成物であって、
前記複数の操作された T r e g の前記操作された T r e g が、C D 4 + C D 1 2 7 - C D 2 5 + F O X P 3 + 細胞であり、
前記複数の操作された T r e g の各操作された T r e g が、グリア細胞マーカーに特異的に結合するキメラ抗原受容体 (C A R) を発現し、
前記 C A R が、配列番号 6 に存在する 6 つの C D R を含む単鎖可変フラグメント (s c F v) を含み、前記 6 つの C D R が K a b a t により定義される C D R である、
組成物。 20

【請求項 7】

前記 6 つの C D R が、

- (a) S Y A M S (C D R - H 1) ;
(b) T I S T Y G D Y T T Y A D S V K G (C D R - H 2) ;
(c) G S Y T F D Y (C D R - H 3) ;
(d) R A S Q S I S S Y L N (C D R - L 1) ;
(e) S A S Y L Q S (C D R - L 2) ; および
(f) Q Q S N A T P S T (C D R - L 3)

であり、前記組成物が薬学的組成物である、請求項 6 に記載の組成物。 30

【請求項 8】

前記 s c F v が、配列番号 6 に対して少なくとも 99 % の配列同一性を有する、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 9】

前記 s c F v が、前記グリア細胞マーカーであるミエリン - 希突起膠細胞タンパク質 (M O G) に特異的に結合することができる、請求項 8 に記載の組成物。

【請求項 10】

前記 C A R が、前記操作された T r e g を、M O G を発現するグリア標的細胞へと方向付けることができる、請求項 9 に記載の組成物。 40